

栄東まちづくり協議会 4 月協議会 議事録

日 時：2024 年 4 月 25 日（木）18:00～19:40 場 所：栄東まちづくり協議会会議室

出席者：野田、田端、辻本、谷澤、近藤、江口、小澤、藤井、
鶴田（池田代理）、松井（渡邊代理）、山岡、鈴木、只井

●定足数及び議事録署名人の確認

13 人中 13 人の出席で栄東まちづくり協議会規約第 10 条第 2 項の規定（在籍委員の過半数の出席）により有効に成立、議事録署名人は田端副会長と山岡委員とする。

●2024 年度に着任した委員・監事・事務局職員の紹介、委員の任期について

協議会に辻本副会長（栄東発展会会長）、谷澤副会長（中区区政部長）、近藤監事（中区区政部総務課長）及び事務局に高木が着任した。また、この度着任した辻本副会長の任期について、前任者の残任期間である 2025 年 4 月の協議会までであることを確認した。

■議題

1. 栄東まちづくり協議会規約の改正について

栄東まちづくり協議会規約の改正について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 栄東まちづくり協議会規約を改正することが全員一致で承認された。

（質問、意見）なし

規約改正後、改正後規約に従い、南武平町北部町内会より推薦を受けた藤井進氏が協議会委員に着任した。

2. 2023 年度事業報告及び決算について

2023 年度事業報告及び決算について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2023 年度事業報告及び決算について全員一致で承認された。

（質問、意見）なし

3. 2024 年度環境美化事業 落書き消し活動の実施について

2024 年度落書き消し活動の実施について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2024 年度落書き消し活動の実施について、資料記載の役割に基づき、協議会で所要の経費を支出することが全員一致で承認された。

（質問、意見）なし

4. 2024 年度地域活性化事業 夏まつりの実施について

2024 年度夏まつりの実施について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2024 年度夏まつりの実施について、資料記載の役割に基づき、協議会で所要の経費を支出することが全員一致で承認された。

（質問、意見）なし

5. 2024 年度街路灯整備事業 新設街路灯広告パネルのデザインリニューアルについて

2024 年度新設街路灯広告パネルのデザインリニューアルについて資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2024 年度新設街路灯広告パネルのデザインリニューアルについて、2023 年度に決定したデザインで、事業予算 1,000,000 円の範囲内で、資料記載の位置及び数量のとおり取り替えを進めることが全員一致で承認された。

（質問、意見及び回答）

- ・ パネルのデザインについて、昨年度の協議会で審議し決まったものであるが、実際に街路灯に取り付けられた現物を見ると、会議の場で説明を受けて見たものと少し感じが違い、あまりよくないように感じた。一度審議で決まったものをここで否定するような意見を述べてもいいのかどうかをお聞きしたい。既に設置されたものはこのままでもいいが、新たに設置するものについて再度協議することをお願いすることは可能か。→デザインは協議会で審議・決定したものではなく、各地域団体より選出された選定者が決定したものであり、協議会では決定したデザインを報告したものである。その際に出力されたパネル現物を会議室でお見せし、同じものが街路灯に設置されている状況である。なお、デザイン決定に 165,000 円かかっており、新しいデザインを選定するためには新たに企画コンペを実施するのか等検討をする必要がある。
- ・ 認めていただけるのであれば、次回協議会までこの審議を延ばしていただき、皆さんに現物を見ていただいて、このデザインで良いという意見が多いというのであればデ

ザイン変更の意見は取り下げる。

- ・デザイン変更の提案が間違っているとは思わないが、もう済んだ話であり、各地域団体からの選定者によるデザインの選定の際も意見は分かれたが、このデザインに決まった。協議会の場でいきなりこのような話をされても困るため、運営会議で議論していただきかった。
- ・デザインをもう一度変更するとなると、今のスケジュールではできなくなる。
- ・皆様のご意見を踏まえ、この度のデザイン変更の提案は取り下げる。

6. 2024 年度その他事業について

2024 年度その他事業 行事保険について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2024 年度行事保険について、資料記載の保険契約内容案をもとに加入を進めることが全員一致で承認された。

（質問及び回答）

- ・まち美活動について、名古屋市の保険があるのではないかと。
→名古屋市の市民活動保険はあるが、補償対象が限られていることを中区地域力推進課を通じて確認しており、今後まち美活動では町内会に加入していない方や若年層、地域外の方、事業者等より多くの参加者を巻き込もうという方針を伺っているため、市民活動保険対象外の方も含め、活動参加者の万が一の怪我等の補償ができるよう、まち美活動も対象事業に含めているものである。

7. 2024 年度事業の実施スケジュール等について

2024 年度事業の実施スケジュール等について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2024 年度事業の実施スケジュール等について、地域団体と共催する事業の内容やスケジュールの提出（5 月 24 日(金)まで）を各地域団体へ依頼することが全員一致で承認された。

（質問、意見）なし

■報告事項

1. 2024 年度予算について

2024 年度予算について資料の通り報告した。

（質問、意見）なし

2. 2024 年度調査研究事業について

2024 年度調査研究事業について資料の通り報告した。

（質問、意見及び回答）

【実行委員会の役割及び検討事項について】

- ・ 実行委員会の役割は、調査項目や調査対象等の検討を行うものではないのか。会議内容を見ると、例えば第 1 回実行委員会（4 月 3 日）の内容で「栄東地域の現在及び将来の課題の洗い出し」とあるが、これは求められている役割を超えているのではないのか。「2. スケジュール」にある第 4 回「ネット調査で確認すべき項目の抽出整理とネット調査不適合項目の扱い方検討」から話し合いを始めればいいのではないのか。
→ 実行委員会では皆さんが現状感じていることをフリートークで意見交換し、それに基づいて調査項目をあぶり出している段階である。
- ・ 実行委員会で議論する内容を超えているのではないのか。この地域の課題と思われることについて、解決するにはどうすればいいかを検討する場合は実行委員会ではないのではないのか。
→ 現在はひとまずできるかできないかは判断せず、思っていることを出してもらっている状態である。
- ・ 1 回目の将来課題の抽出まではいいかもしれないが、分類整理や重要度判定というのは実行委員会の役割を超えているのではないのか。まちづくりにおける方向性を話し合うというのであれば、前回の協議会で実行委員会の人数の議論があったが、6 人では足りない。あくまでもアンケート調査の項目や対象等を検討・決定する実行委員会として 6 人としたはずである。役割に沿った、焦点を絞った話し合いをしていただきたい。
→ 予算が限られており、アンケート項目数にも限りがある。アンケート調査を有効に実施するために、ある程度回答を予想したうえで、質問を設定した方が効率が良いということで、その前段階としてブレインストーミング的に意見交換をしている。そのため、意見交換で出た課題や対策等をこの地域で今後実施するというような段階の議論ではない。実行委員会の役割はあくまでも調査項目や対象等の検討を行うことである。調査結果を踏まえて各地域団体及び協議会でその後の取り組みについて検討がなされていくものと認識している。
- ・ 予測を立てて質問を考える手順は理解はできるが、行き過ぎてはいけない。我々がこ

の地域をどう思っているかは二の次にして、不特定多数の外部の人がこの地域をどう思っているのかを聞き出すことを念頭に置いて、その情報が収集された時に我々が思っていたことと一致することと一致しないこと、解決しないといけないことなのか、特に問題視する必要がないことなのかを振り分けをして今後どうすべきかの対策を練ればよいと思う。それが調査事業ではないか。

- ・オブザーバーとして実行委員会に参加したが、実行委員会の役割と実際に話し合っていることが違うのではないかと思うところもあった。本来であれば、実行委員会で検討する事項については、その検討の途中経過が協議会で報告されることは想定していないことかと思うが、議論を聞いていると本来実行委員会で検討する内容を超えるようなことも議論されており、協議会や地域 3 団体の場にフィードバックした方がよいような内容もあると思ったので、今回は途中経過を協議会に報告いただいた。そのため、本日いただいた意見を実行委員会へ報告し、その意見を踏まえた検討を実行委員会へお願いするよう伝えるということではいかがかと思う。
- ・今回の実行委員会はビル関係の方と地域関係の方がおり、それぞれの立場での意見がたくさん出ている。おっしゃるように、今この地域を外から見ると皆さんがどう思っているかを今回インターネットで調査をしたい。そのため、今回の 50 万円でいかに効率的な質問事項にするか、どういう年代のどういう人たちに聞けばいいのかというのを含めて実行委員会で意見をまとめている段階である。ただ、それ以外に、例えば次回の調査研究に使えるのではないかというような事項もたくさん出てきているため、それを振り分けていただいている。次回の実行委員会にはおそらくその項目が出てくると思う。その後、皆さんに実際こういった形でアンケートを取るということをお知らせできると思うため、それを見ていただいて意見を言っていた方がよいのではないかと思う。出てきた意見を参考にし、この地域の飲食等のお店がどのような工夫をすればお客さんが来るかというのを我々は知りたい訳であり、そのような意見を取り込むようなアンケートの質問をインターネット調査会社に伝えやっけていただくという形にする。実行委員会では多くの意見が出ており、その中には協議会で取り上げ議論した方がよいのではないかとこのものもあるため、それは記録しておき、他の事業への活用もできると思うため、別途報告するようにしたい。
- ・実行委員は各地域団体から 2 名ずつ選出されている。地域 3 団体に対し、5 月と 6 月に実行委員からの経過報告が予定されているようなので、それぞれの団体において、各実行委員に想定と違ったことであればなぜそうなったのかの経緯を聞いたり、考え方が違うのであれば意見交換をすればいいのではないか。この事業に関しては全員の理解が出来ている感じではなく、やりたいことの方が先行しているようなイメージがあるので、5 月と 6 月の各地域団体の協議の中で、各実行委員の理解も深めることでやり方が定まってくると思う。
- ・実行委員の皆さんもまだ理解していないので、やっと昨日の実行委員会の会議のあた

りから意見が合うようになってきた。これまでは何でも言いたいことをいう場であったが、どうしていくかという方向や取捨選択をこれからしていく流れである。昨日決まったことはこの地域の魅力を抽出することに絞り、悪いことやマイナス部分を宣伝する訳ではなく最終的にカットしようということである。発信したい魅力が実際に外部の人がそう思っているかについてネット調査をして確証を得ようという目論見である。

- ・この地域の悪い部分を多く洗い出している印象がある。悪いところをクローズアップするのでなく、いいところを伸ばしていくという観点で考えていただきたい。

【調査対象（飲食業界）について】

- ・当初、繁華街である栄東地域の状況を外部の人から見てどう思っているかのインターネットを使った調査をするという目的で始まった実行委員会であると認識している。それを実行委員会内だけの話し合いによって、飲食店に限定して調査を行うというのは、そもそもそこで最初の趣旨から外れているのではないかと思う。
→業態は限定せずに調査をするという事業計画であるが、実行委員会で飲食以外の業種も含め検討した結果、今回の予算 50 万円と、その中で可能な質問数や、この地域に飲食店が一番多いという実情も踏まえて、今回の調査は飲食業界を中心とした形の調査をすることがいいのではないかという話になったものである。
- ・実行委員だけでどんどん違う方向へ進んでいるように思う。当初協議会では栄東地域全体の繁華街としての実態を調査する事業だと認識していたが、実行委員だけの意見を聞いて最終的に飲食店だけにしたというのはいかがなものか。
→飲食店だけではなく、この地域に抱くイメージやこの地域への期待といった内容も一次調査の質問項目として検討されている。そのうえで更に深掘りする対象の業界として、この地域に飲食店が多いという実情と予算と質問数が限られるという中で、飲食業界を中心とした二次調査を実施するのが今回の調査研究事業でできることだという結論となった。全業種をやるとするのは難しい。

3. 2023 年度街路灯整備事業 街路灯の維持管理について

2023 年度街路灯の維持管理について資料の通り報告した。

（意見及び回答）

- ・今後の協議会の事業計画を作成するにあたって街路灯の維持管理は検討しなければならない重要なことにならないかと思うため、将来的なコスト計算の参考資料を作成していただきたい。
→資料を作成し、報告する。

4. 2023 年度事業評価（最終）の結果について

2023 年度事業評価（最終）の結果について資料の通り報告した。

（質問、意見及び回答）

- ・まち美活動について、まち会及びビル協会から改善策として「スポ GOMI」が挙げられているが、どのような企画か。発展会がリーダーシップを取って実施している事業であり、可能なことであればやっていきたいと考えているが、具体的に知りたい。
- ・「スポ GOMI」はイベント化して地域を盛り上げる、各所でやっているゴミ拾いである。決められた時間内にゴミを拾い、ゴミの種類毎にポイントを定め、合計点で賞品を出すような企画で、多くの人に参加できるもの。地域の方たちで実施するもの大切だが、こういったイベント化したゴミ拾いをすることでメディアにも取り上げる等まち美活動がより広がるのではないかと考え、記載した。
- ・発展会で実施できると思うか。
- ・できると思う。発展会だけでなく、地域全体を巻き込み、行政の協力も得て実施すれば盛り上がると思う。
- ・中土木事務所がまち美活動に B 評価（一定の成果がある）を付けられ、特に自由記述はないようだが、補足するようなコメントがあれば教えていただきたい。
- ・もともと評価の基準が明確ではなく、B であれば事業継続してよいという認識で、一定の評価が出た事業は B を付けており、何かマイナスがあった訳ではない。更に、評価するために何かしら分かりやすい指標があった事業に対しては A を付けたものである。

■確認事項

1. 栄東まちづくり協議会について

栄東まちづくり協議会について総務局総合調整課より資料の通り説明した。

（質問、意見）なし

■その他

1. 2024 年度栄東まちづくり協議会開催日程について

2024 年度の協議会開催日程について資料の通り説明した。次回協議会は 6 月 6 日（木）18:00 より栄東まちづくり協議会会議室にて開催する。

以上